

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

今月の1枚
「育つ秋」

【撮影】佐藤大輔さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は区HPをご覧ください。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



佐々木友哉さん(向島在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第72回は、吾妻橋で飲食店「すみだCafe」を営み、地域の行事にも積極的に参加する佐々木友哉さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

「すみだCafe」という飲食店で店主をしています。これまで銀座や西麻布などでフレンチ、イタリアンをはじめ様々なジャンルの飲食店に勤めてきました。その経験を活かしたランチやディナーを提供しています。常に多彩な食材を扱ってきたことが、今のメニューの豊富さにつながっていると思います。休日には、新メニューの研究がてら、流行りの店に行っています。でも、食事

を楽しむだけでなく、地域の方がつながる場所としても活用してもらいたいと思っていて、地元の町会や消防団などの集まりでよく利用されています。また、スタッフがフラダンスを習っていることをきっかけに、食事中にフラダンスショーを楽しんでもらうイベントを定期的に開いているので、今後も地域のつながりを生み出せたら嬉しいですね。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

私が若い頃に修行した先の料理長は厳しい人が多く、特にフレンチレストランとホテルは本当に厳しかった。毎日「負けてたまるか」という気持ちで働いていました。ほかにも「本日の魚料理“シェフのイマジネーション”」といった、スタッフ泣かせのメニューばかりの店もありました。その日シェフから何を求められるか、日頃の会話をヒントに食材を用意しておき、仕事終わりには書店で料理本を眺める日々。おかげで、料理人としてのアンテナが鍛えられ、20代後半から料理長を

任されるようになりました。そうした中で、次第に自分が生まれ育ったすみだで自分の店を持ちたいと思うようになりました。すみだは、世代を超えて人と人がつながるまちです。店には私の同級生だけではなく、そのご両親なども来てくれます。子どもの頃から現在まで続くつながりが本当に嬉しいです。結婚して子どもが小さく、なかなか独立する勇気が出なかった当手を振り返ると、そうした方々が高齢になってきているので、今ではもっと早く始めていれば良かったと思っています。



◀ 店でのフラダンスショーの様子と、演者の皆さん。イベントは毎月開催され、地域の交流の場にもなっています。



Q. 佐々木さんは、すみだのどんなところが好きですか？

この紙面で皆さんもよく話していますが、すみだの魅力は、やっぱり人とのつながりですね。私も地域行事には積極的に参加するようにしていて、例えば牛嶋神社の祭礼ではお御輿を担いでいます。ちょっとおせっかいだけれどそれに助けられる、温かさがあるまちだと思います。私の子どもが小さかった頃も、近所の人々が手を貸してくれまし

たし、会えば声を掛けてくれるので安心できました。いろんなまちを見てきましたが、同じ中学校に親子3代で通うような地域は、なかなか都内ではないと思います。それは、地域みんなで子育てをするような、暮らしやすいまちだからではないでしょうか。だからこそ、最近住み始めた人にとっても、心地良く暮らせるすみだでありたいですね。

次回登場してくださるのは・・・

名物は“百種の日替わり湯”。リニューアルで更なる進化を遂げた「薬師湯」を営む長沼秀三さんです。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

8月8日は、“八方末広「八広の日」”！

墨田区長

山本 亨

令和8年8月8日、「8」が3つ重なる特別な日に、八広誕生60周年を記念した式典「八広八八祭り」が、八広地域プラザ(八広4-35-17)で開催されました。これに先立ち、8月8日が日本記念日協会により“八方末広「八広の日」”として記念日登録され、大変おめでたい日になりました。

昭和40年、住居表示の変更によって寺島町六・八丁目、隅田町四丁目、吾嬬町西五丁目～九丁目の8つのまちが1つになり、末広がりにあやかって「八広」が誕生しました。昭和から平成、令和へと、八広だけでなく区全体がまさに“末広がり”に発展し、区の人口は今年7月に29万人を突破するなど、「暮らし続けたい・働き続けたい・訪れたいまち」を目指して、着実に成長

を続けています。

さて、式典当日は、都が推進する結婚支援事業「TOKYO 八結び」との連携企画や、手作りの888個の提灯行列など、徹底的に“8”にこだわったプログラムが行われ、楽しい時間を過ごしました。このような、まちを挙げたすばらしいイベントを実現できたのは、町会を中心とした実行委員の皆さんの熱い想いと企画力、準備があったからこそです。関係者の皆さん、お疲れ様でした。

また同日は、区役所を特別開庁し、婚姻届の提出に訪れたカップルのために“記念撮影ブース”を設け、お祝いに花を添えました。私も、来庁された多くの方にお会いし、記念撮影をするなど、幸せを分けていただきました。

これからも「人がつながり 夢をカタチに 墨田区」の実現に向け、安全・安心で魅力的なまちづくり、地域の更なる活性化に取り組みますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。



式典会場で小池都知事、実行委員ほか関係者の皆さんと

